

32	435	建築事業昭和十四年	資材關係引繼書	海建107之1號 S14 8.24	海口事務所長	南支課長	海軍慰安所資材整理狀況	p.81-93	p.184-196
----	-----	-----------	---------	-------------------	--------	------	-------------	---------	-----------



昭和十四年八月二十四日

海口事務所長

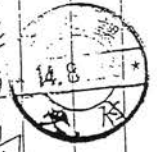
南支課長 啟

海建107之1號

昨日御下命ノ建物ノ公司ノ有ニテ日現在ノ在庫有
並ニ資材關係引繼書別紙ノ通り御答申ノ候間
可然御了承被下度願上候

本井加登ノ一四〇〇ノ付分

到北名ニ渡ル



(14. 7. 60,000 吉村恒吉印)

海折殖株式會社
KAIKYO殖株株式會社

資材關係引繼書

一資材整理状況

從來積送ノ建築資材ノ行儀ニ就テハ完備セル書類及
當時ノ主ナル取扱者ニテテ而共ノ事情不詳ナルニ
結果當時ハ軍部ニ於テ建築資材ニ要ルモノ
採ルト当地ノ輸送機關ニ備ハラサレシ等ノ陸揚
ハ海軍隊營隊ノ牛ニ於テドクノ庫ニ搬入セシ
海軍慰安所及各社ノ散在スル小屋等ノ建築ニ
建設ニ就テ不詳ナルニ至リテ事情聴取ノ結果
右ノ如ク相像セル使用セルモノ外ハ何レニ
味去時イケ早ノ一島ニ於テ公司ノ等建築事業
田村組桑島也ノ最モ道般ノ消息ニ通セルモノ
八内川代櫻田代金子ノ現場ニ於テ

海折殖株式會社
KAIKYO殖株株式會社

(14. 3. 10,000 江里口新會)

知ル位モノナリト謂フ其ノ後六月日ヨリ当建物公司用致セシムル
 職員ノ建築技術者(現堀伏技師島本技師)ノ為時迄京出張中
 一名外七班者坂井列巻幸ヲ合シ僅カニ爾四名ニ留キタル數ヲ
 兎用事務ヲ開始セシ本島ノ事情並従来ノ経緯ニ何等ノ豫備
 知識ヲモテザル全ク素人ノミテ擲ニテ加エテ午本任ノタメ當時ノ
 繁鎖ル建築事務ニ其ノ万全ヲ期シ能ハカリハ由亦俟テ得サル
 於ニテ殊ニ當時材料係トシテ僅カニ山口技師(現拓務課勤務)一名ノ
 ヲ然レ何著建築方面ニ素養ヲ有セザルモノナルヲ以テ警難ナル資材ノ更
 換管理ニ万全ヲ期シ得ラレサリシフトハ亦簡便ニテ得カレ次ギテ其
 後漸次大休所要人員ノ近キ職員ノ配属ヲ見タムニ是等職員トテ大半ハ
 無経験者ニシテ時間合セノ人選ニ過ヤサルヲ以テ教多ノ資材ノ更松
 管理ニ尚相与ノ苦ヘテ私レワ、今日ノ及ベリ
 資材ノ關係概テ叙上ノ如クナルニ従来ノ資材ノ行衛ニ就テハ未得限

(14. 3. 10.000 元里口積會)

リノ千般方法ヲ請シテ整理ノ要アルニ付先ツ七月十八日奇ニ各資材ノ在庫
 高調ベヲナシテ別表ノ如ク大休ノ整理見送シテワケ以後ノ分ニ對シテ
 正確ナル更松台帳ヲ作成シ毎日ノ更松ヲ正確ニ記帳整理シワアリ
 尚資材ノ檢収ニ就テハ當時ノ事實情報ヨリテ各地ニ於テ檢収ノ違ヒナク其ノ
 任ノ更ハレテナシキリテモ、如クナルニ期スルヲハリスルノ教量ト空際更
 入高ニ數古クナル前ヤノアルトハ、ストリ空際後載量ハ少シ)五月二十七日
 めなカル以後ノ方ヨリ實施セシ現地ノ檢収空績(書類綴テ了本社報告
 簿)ニ徴シテ明カナル所ナルヲ以テ従来ノ資材ニシテ不足或ハ行衛不明ニ稱
 也レ、内ハ斯ナル弊弊ヲ教示シテ不足分ニ抱合セラレタルモノト被思料
 せん
 資材整理状況左ノ如シ
 一 四月一日基隆岸ノナド積入分
 一 一部海軍慰安所用資材トシテ田村組ハ他ハ海軍設置隊ニテ使用

(14. 3. 10.000 元里口積會)

一、四月十日 荻浦玄帆 致波付積
 所ニ。樽(ノスト) 名解自衛軍公団 収納シテ、六月十日 致波
 一七六樽ヲ引絶ヤ草(倉庫) 収納
 一、四月十日 海口入港 倉庫格納
 疊ニニニ枚以外ノ建築費我ハ田村組 桑島氏(交年) 領収証了
 倉ハ本社ノ病舎其他ニ使用セシメ、カ
 一、五月十日 海口入港 積ノ方
 海口揚ケノ資材ハ不明
 三、亞揚ケノ方ハ三亞海軍設官隊ニ引渡ス(領収書アリ)
 一、五月十四日 基隆出帆 メナト丸 積ノ方
 本検収シテ海軍設官隊ニ運搬シトシ工部ハ草倉庫格納セシ
 元ノ、枚
 一、六月十日 荻浦出帆 倉庫格納ノ方

本検収ノマ、草倉庫格納セシメ、カ
 一、六月十四日 入港 メナト丸 積ノ方
 海口揚 建築費我ハ検収ノ上草倉庫ニ格納
 三、亞揚ケノ方ハ検収ノ上工部請負田村組ヨリ領収書徴收済
 一、六月二十八日 入港 倉庫格納ノ方
 検収ノ上草、草三倉庫ニ格納
 一、七月一日 入港 メナト丸ノ方
 検収ノ上草、草三倉庫ニ格納
 一、七月十五日 入港 倉庫格納ノ方
 検収ノ上公司前空地ニ收納他ハ草倉庫ニ格納
 一、七月二十日 入港 メナト丸 倉庫格納ノ方
 検収ノ上草、草三倉庫及公司前空地ニ留置
 一、八月十六日 入港 倉庫格納ノ方

検収ノ上格庫ノ予定

備考

六月一日ノ押出しタル資材ノ対シテ領収証ヲ徴収ス

一、懸案事項

(1) 建築資材増加に伴ヒ従来の置場(草莽等)狹隘ヲ告ケスニ伴テ置場ノ裁シ得テ草置場ノ擴張(約八五〇坪)ヲナスコトトシ同時ニ木材置場ノ上屋ヲ作り完全ナル木材置場致シ度ノ五日中ノ設計見積ヲナシ決裁ヲ仰キ先ニ上急速ニ着手ノ予定

尚屋内格納ノ必要トスル資材増加に伴ヒ同下ノ設備ヲハ高不足ニ付極力此ニ家ノ借入ノ努力カスル予定

(2) 建築資材ノ増加に伴ヒ統制品購入ノ必要日増シ激増ヲ見ツラレテ際ニ力購入ノ証明書下附ヲ繰キ先ニ軍需品トシテノ証明ハ日増シ難ト相成リ居ル実情ニ付軍需品トシテノ証明ハ入手比較

的容易ナルモ斯ナル証明ニテハ購入上苦鑽ナル由ニテ其ノ都度本社ヨリハ軍需品トシテノ証明書下附ヲ要望セシ居ルニ付一旦軍需品トシテノ向接公尋臣(軍)関係ヲ有スル軍需品以外ノ建築資材中ノ統制品ニ對シ軍需品トシテノ便宜ノ取扱ヲ拒絶スルカ知キコトトシテハ將來統制品トシテ購入ノ必要トスル場合此等ナル支障ヲ来スコトナルハキニ付此際左統制品購入上特ニ便宜ノ取扱ヲ願ヒ軍需品トシテ購入ノ証明書下附ノ解ヲ三有連絡會議ニ提出シテ特ニ軍部ノ解ヲ得ルノニ致度

(3) 資材係ノ人客ニ對シテハ叙上ノ如ク尚不完備ニ付更ニ左記ノ角ノ採用ノ御協議ヲ相仰度

資材ノ取扱並ニ監理事務ニ精通セル事務者ヲ志名ニ至駐在
候補係トシテ経験有スル者志名
一、澤口ニ於ケル株石ハ日下請負ノ形式ニテ株石迄了之カタン
負ノ常駐セルニ必要ナキニ付日下駐在中ノ古領屋ヲト先

本部に於ては、本邦に於て材料係トシテノ執務ヲナシメ、抹在要取ノ際、
ハ、出張セシムル様ニ致度御考慮ヲ願度

「第一項」に於て詳述セラル資材ノ整理状況ニテ、考慮スルニ、従来ノ積込セシ
タル資材ノ処置ニ関シテハ、抽出ニ對シ領收書ノ付ルモノハ、問題ナキモ、全然
行衛ノ不明ナルモノハ、既設工事ノ内訳書ノ使用材料高ニヨリ計算
請求ノ外ナカル可ク、右ニヨリ尚不適合ノモノハ、對シテハ、右時ノ事情ヨリ、
俟テ得ルモノモ、付シタルトモ、被思料ニ本件ノ款アハ、更ニ上司ノ御指示ニ
ヨリ、善処シタリ

工事内訳書トシテ材料係ニ保管中ノモノ

自働車公司 華南銀行 結山濃場 海軍貯安所ノ分以上
四通

右工事ノ内訳書中未着ノモノハ、振澤技師ノ手許ニ取纏メ中
5. 建築各資材ノ單價決定ニ就テハ、目下本邦照會中ノ任知書

(当方ノ請求ニ基キ任知書到着セルモ、任知書トシテ完全ナルモノハ、未ダ付テ、又
テ、不備ノ支度單價決定上、必要事項照會中ニ付、) 到至月次、若各地
渡單價決定ヲナシ請求ヲナス予定ナリ

6. 右正々ノ單價決定、迄ハ、日十四日、付法裁ノ單價概算書ニヨリ算出セル
單價表ニヨリ、緊急工事ノ見積ニ間ニ合ハスコト致度

(單價概算表別表ノ内、) 單價概算表法裁書ハ、書類綴中ニ付)

「當地陸揚ノ建築資材ノ運搬々工事場へ」建築資材ノ輸送ハ
自働車公司ノ運送ニ、廻ハセシメ、右公司ノ常備トトラウニ、台ヲ以テ
之ニ、カ、ワ、ヤ、ルモ、資材ノ多量ナル場合ハ、到底輸送ノ困難ナリ
能ハサルニ付、其ノ際ニ、海南通輸公司ノレテ、船送ニシメ、ワ、ヤ、リ
然レ、爰最近右輸送ノ便、一モ、市内ニ、氣也ヲ、一、(一、台、八、内、也)

「要求ヲ台振公司」提出シ、未ダ付テ、内、川、内、ノ、建築資材
關係ノ建物公司、於テ、假定アリ、オ、ト、申、出、テ、アリ、タル、ニ、付、未、決、

渡中ノ此ノ程右運賃ノ規定ニ就テ自勤車公司ノ將來ニ至大ノ關係ヲ
 有スルヲ以テ之等運賃ノ規定ニ固シテ一切自勤車公司ニ於テナ
 探ト本社(台紙公司内川代)ヨリ指示アリタル趣キテ自勤車公司
 徳田氏ヨリ通知アリタルニ由ル公司ノ持分ノ其ノ儘ナリトセリ
 8. 運賃樹枝單價ノ決定ヲ俟テ置キ個人商店及他社ニ融通セリ
 木枝等ノ請求ヲナスコト
 自勤車運賃ノ決定ヲ俟テ置キ資材運搬先(南進商行台紙控組
 等)ナレク苦力賃自勤車賃ノ請求ヲナスコト
 三. 未決事項
 人井ノ振用款管購入ノ件
 本件購入証明書請求中ニ甘軍經理部ノ方下附アレハ全部既
 (総行兼領事館ノ方下附済本社ニ送付ノコト
 二. セント拂下額

振込技師ノ指示ニ基テ海軍情報部宛願書提出既ニ三百枚
 受領済ニ由リ海軍情報部ヨリ請求アレハ振込技師ノ指示ニ基
 キ処置スルコト
 9. カイナマト購入証明書下附款ノ件ハ寺田ニ於テ軍部ニ交渉中
 ノ由ニ由ラ由テ俟テ書類提出ノコト
 八. 度量衡器及土工用器具購入ノ件
 七月三十一日附海軍第七二号ヲ以テ本社ニ申請中ニ付送付アリ
 才振込技師ノ指示ヲ俟テ置キ處理スルコト
 四. 引越簿冊
 八. 四日ロ一七月三十一日迄ノ入港各船ノリスト及関係文書十一冊
 二. 材料関係文書綴一
 三. 澤口忍樓株石状況一覽表(株石送込ノ種ニ登記保管)
 四. 金令九積荷運賃明細書一